



ください。

( [https://partner.jica.go.jp/Contents/pdf/JICAPARTNER\\_%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB\\_%E6%A5%AD%E5%8B%99%E5%AE%9F%E6%96%BD%E5%A5%91%E7%B4%84.pdf](https://partner.jica.go.jp/Contents/pdf/JICAPARTNER_%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB_%E6%A5%AD%E5%8B%99%E5%AE%9F%E6%96%BD%E5%A5%91%E7%B4%84.pdf) )

- ◇ 提出方法等の詳細については JICA ホームページ内の以下をご覧ください。  
「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン」最新版の「別添資料 11 業務実施契約（単独型）公示にかかる競争手続き」  
<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/20220330.html>

なお、個人の資格で競争に参加する場合、簡易プロポーザル提出 5 営業日前までに所定の競争参加資格審査申請書の提出が必要です。

- ◇ 評価結果の通知：2025 年 5 月 13 日（火）までに個別通知  
提出されたプロポーザルを JICA で評価・選考の上、契約交渉順位を決定します。

- ◇ 評価結果説明の取り止め：2023 年 6 月 30 日のお知らせに掲載  
(<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/consultant/2023/20230630.html>) のとおり、2023 年 7 月以降の単独型公示については評価結果の説明を取り止めます。

#### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
- ① 業務実施の基本方針 16 点
  - ② 業務実施上のバックアップ体制 4 点
- (2) 業務従事者の経験能力等：
- ① 類似業務の経験 40 点
  - ② 対象国・地域での業務経験 8 点
  - ③ 語学力 16 点
  - ④ その他学位、資格等 16 点

(計 100 点)

類似業務経験の分野	各種評価調査
対象国及び類似地域	ネパール及び全途上国
語学の種類	英語

## 5. 条件等

### (1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めません。

### (2) 必要予防接種：特になし

## 6. 業務の背景

本業務は、ネパールで実施している水道分野の技術協力プロジェクト 2 案件に関して、終了時評価の分析を行うものである。以下、対象案件の概要を記載する。

### (1) ネパール水道セクター全般の概要

ネパールの上水道セクターは、カトマンズ盆地、地方の主要都市ならびに地方都市・農村部の 3 区分でガバナンス体制がそれぞれ異なっている。カトマンズ盆地はカトマンズ盆地水道公社（以下、「KUKL」）、地方の主要都市はネパール水道公社（以下、「NWSC」）が運営・維持管理を行っており、地方都市・農村部は政府機関である上下水道管理局が所管する。

上記体制の下、改善された水へのアクセスは、都市部で 90.0%、農村部で 91.6%となっている<sup>1</sup>。ただし、KUKL および NWSC 所管地域における水道の普及率は 45.6%に過ぎず、平均給水時間は 6.5 時間/日<sup>2</sup>、水道水質基準の遵守率は 42.7%に留まる等、給水サービスの水準は低い状態であった<sup>3</sup>。

### (2) 円借款附帯プロジェクト「カトマンズ盆地水道公社水道サービス向上プロジェクト」の概要

カトマンズ盆地の人口は 270 万人であり、37 万 m<sup>3</sup>/日<sup>4</sup>の推定需要量に対して KUKL の給水量は年平均で 12.6 万 m<sup>3</sup>/日に過ぎず、推定 26%の漏水率を加味すると有効水量は 8.1 万 m<sup>3</sup>/日である。顧客は 1 日平均 2 時間の時間給水を強いられ、十分な給水量を確保するため、高額のサービス料金を支払い、給水車を利用

<sup>1</sup> WHO/UNICEF Joint Monitoring Programme, 2022

<sup>2</sup> 26都市の平均値

<sup>3</sup> JICA、Town Water Supply Service Providers Capacity Assessment and Benchmarking、2017.

<sup>4</sup> KUKL、Presentation “Water Demand & Supply”、2016

する状態であった。KUKL は水質管理、配水圧管理、顧客サービスの観点で、水道事業体としての役割を十分に果たすことができていなかった。

この状況を改善するため、「メラムチ給水事業」（有償資金協力、アジア開発銀行（Asian Development Bank：以下、「ADB」）との協調融資）が実施された。また、2016 年 7 月には KUKL の新組織体制が発表され、新規職員の採用も開始され、KUKL 内部における実施体制整備が進められた。

このように水道インフラおよび KUKL の実施体制の整備が進む中、ネパール政府は我が国に対し、KUKL の人材育成および施設改善を通じた運営・維持管理に係る能力強化を目的とした技術協力を要請した。これを受け、2021 年 3 月、「ネパール国カトマンズ盆地水道公社水道サービス向上プロジェクト（以下「KUKL 技プロ」という。）」が始まった。

KUKL 技プロでは、KUKL の運営維持管理能力の向上を目指しており、期待された成果は以下のとおりである。

- 成果 1. 地理情報システム（GIS）を活用した配水管理能力が向上する。
- 成果 2. 無収水削減対策能力が向上する。
- 成果 3. 浄水場の維持管理および水質管理に係る能力が向上する。
- 成果 4. KUKL の顧客サービスに係る能力が向上する。
- 成果 5. KUKL の内部研修に係る実施能力が向上する。

KUKL 技プロのプロジェクト期間は、現時点では 2026 年 3 月までとなっている。

### （3）技術協力プロジェクト「ネパール水道公社水道事業能力向上プロジェクト」の概要

ポカラ市はネパール第二の都市（人口約 51 万人・2021 年国勢調査）であり、ネパールの主要産業である観光業の中心地であり、ネパール経済にとって重要な位置を占める都市である。このポカラ市の水道事業の大半は NWSC が担っている。

ポカラ市の人口は 15 万人（2001 年）から 51 万人（2021 年）に増加しており、今後も人口増加が続くものと予想されている。一方、水道による給水人口はポカラ市全体の 64%であり、NWSC の給水を受けている家庭のほとんどは時間給水を余儀なくされていた。加えて、水質については、NWSC が給水する顧客の 98%において蛇口から大腸菌群が検出される状態であった。

この状況を改善するため、無償資金協力「ポカラ上水道改善計画」が実施された。この無償資金協力事業の実施機関である NWSC には運営面・技術面の課題があり、能力強化が必要な状況にあった。加えて、無償資金協力事業で整備された施設の運転・維持管理を NWSC ポカラ支所が担う予定であったため、無償資金協力事業のソフトコンポーネントによる施設の運転・操作指導が予定されていたものの、その持続性を確実なものとするためには運営面・技術面でさらなる強化が必要であった。

運営面の課題として、一定期間新規採用を取りやめていたことによる、若年層職員の育成遅れがあった。また、人材育成に関する方針や体制も未整備であった。また、水道料金設定に係る課題として、NSWC の水道料金が全国一律であり、各支所で異なる設備投資や水道事業のコスト構造を料金に反映できないことがあった。さらに料金徴収に係る課題として、給水メータの不備が約 20%に達していることがあった。メータ故障・未所有の顧客からは基本料金のみ徴収、推定料金での徴収、固定料金の徴収等、一貫性のない料金徴収を行っている状態であった。

技術面の課題としては、水源の能力不足や配水池の容量不足等があった。ほとんどの支所で 24 時間連続給水が困難な状態であった。また、水源、配水池等の流量計や各戸給水メータが無く、あるいは故障しており、データに基づく送配水量管理がなされていないため、無収水の実態を正確に把握できていなかった。加えて、水質管理に伴う体制・設備・日常管理活動が不十分であり、不適切な凝集剤・塩素注入管理が散見された。

このような状況を改善するため、ネパール政府は我が国に対し、NSWC の水道事業能力強化を要請した。これを受け、NSWC ポカラ支所をパイロットサイトとし、その経験・知見を NSWC 全支所に広げることを目指す技術協力「ネパール水道公社水道事業能力向上プロジェクト（以下、「NSWC 技プロ」という。）が始まった。

NSWC 技プロでは、以下の成果の達成を通じて、NSWC の給水サービス改善のための基盤の整備を図ることとしている。

成果 1：NSWC のパイロット支所における水道施設の運転・維持管理能力の改善手法が確立される。

成果 2：NSWC のパイロット支所における水道料金徴収能力の改善手法が確立される。

成果 3：NWSC における水道料金徴収能力が強化される。

成果 4：NWSC における組織的な研修体制が整備される。

NWSC 技プロのプロジェクト期間は、現時点では 2026 年 3 月までとなっている。

#### (4) その他関連事業の概要

##### ① メラムチ給水事業（有償資金協力）

カトマンズ盆地から 26km 離れたメラムチ川からトンネルを用いて導水する計画で、本事業は ADB との協調融資で実施され、我が国の有償資金協力（2001 年に借款契約を署名）では、新スダリジャル浄水場（処理水量 8.5 万 m<sup>3</sup>/日）を 2017 年に完工した。

ADB によるコンポーネントは以下のとおり。

- ・ 取水口建設
- ・ 導水トンネル建設
- ・ 新スダリジャル浄水場拡張工事（8.5 万 m<sup>3</sup>/日）
- ・ 送配水管網整備

ADB の浄水場も 2018 年に完工し、2021 年には導水トンネルが完工し、2021 年 3 月から浄水場の運用が開始された。しかし、同年 6 月に発生した土砂災害により取水口が土砂に埋没し、運用停止を余儀なくされた。2022 年に仮設取水口を用いて運用を再開したが、高濁度時の導水トンネル使用を避けるため、雨季（概ね 6 月から 9 月）の間、メラムチ川からの取水を停止する運用が現在も続いている。

また、新たに整備された送水管の KUKL への引き渡しは完了したものの、配水管理区画（District Metered Area、以下「DMA」）の引き渡しが遅れている。2025 年 1 月において、33 区画のうち、14 区画の引き渡しに留まっている。さらに、引き渡しを受けた管網への切り替え作業も遅延している。

##### ② ポカラ上水道改善計画（無償資金協力）

ポカラ市では河川水を直接給水しており、特に雨季の濁水が問題となっていた。この問題を解決するため、無償資金協力事業「ポカラ上水道改善計画」が実施された（2017 年に贈与契約締結。2024 年完工）。この事業により、浄水処理施設（緩速ろ過方式・処理能力 4.1 万 m<sup>3</sup>/日）と主要な送配水施設が建設された。

本事業により建設された配水管から顧客への給水管接合替えはNWSC実施事業であるが、本事業の遅延により新設管路への切替えが滞っている。

③ ネパール国ポカラ市給配水管理業務の体系化を目指した技術協力事業

札幌市が草の根技術協力事業により、2022年2月から2025年1月までNWSCポカラ支所への技術協力を行った。

本草の根技術協力事業において札幌市は給配水水質の管理に関する知識・技能を持つ職員の不足や、給配水の水質検査体制の未整備、漏水対応のマニュアル化の必要性というNWSCの課題解決に資する協力を実施した。

成果は以下のとおり。

- ・ 策定した標準手順書（SOP）を基にモデルエリアにおいてNWSCの漏水対応が実施される。
- ・ 給配水ネットワークを中心とした水質管理計画を見直し、モデルエリアにおいてネパール水道公社により日常の水質管理業務が実施される。

札幌市はNWSC技プロとの緊密に連携し、事業を実施した。

今回実施する終了時評価調査は、「KUKL 技プロ」および「NWSC 技プロ」が2026年3月に終了することを踏まえ、両技術協力プロジェクトの目標達成度や成果・課題などを分析するとともに、終了時に到達すべき状態について確認し、対象プロジェクト毎に評価報告書に取りまとめ、合意することを目的とする。また、今後のプロジェクト活動に対する提言を行うこと、今後の類似事業の実施にあたっての教訓を導くことも併せて行うこととする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、プロジェクトの協力について、両プロジェクトそれぞれの当初計画と活動実績、計画達成状況、評価6基準（妥当性、整合性、有効性、インパクト、効率性、持続性）を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。また、今後のプロジェクト活動に対する提言を行う。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 準備業務（2025年5月下旬～6月下旬）

- ① 既存の文献、報告書等（事業進捗報告書、合同調整委員会議事録、専門家

報告書、活動実績資料、開発課題別の指標例および代表的教訓レファレンス<sup>1</sup>等)をレビューし、各プロジェクトの実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセスを整理、分析する。

② 両プロジェクトの評価にあたり、前述「6. 業務の背景(4) その他関連事業の概要」に示した事業の経緯、および技プロに与えた影響について情報収集し整理する。具体的には以下に示す作業を想定している。

a. メラムチ給水事業(有償資金協力)

計画工程と実工程の相違点を整理し、技プロの活動や成果に与えた影響を検討する。

b. ポカラ上水道改善計画(無償資金協力)

計画工程と実工程の相違点を整理し、技プロの活動や成果に与えた影響を検討する。

c. ネパール国ポカラ市給配水管理業務の体系化を目指した技術協力事業  
本事業と技プロとの連携および自治体の国際協力への参画について、その効果や課題の整理、分析を行う。実施にあたっては札幌市水道局への聞き取りを行う。

③ 既存のPDMに基づき、各プロジェクトの実績、実施プロセスおよび評価6基準ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド(案)(和文・英文)を提案する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。

④ 評価グリッド(案)に基づき、各プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、C/P機関、その他ネパール側関係機関、他ドナー等)に対する質問票(英文)を提案する。作成した質問票(案)は、現地派遣前にJICAに提出する。

⑤ 終了時評価調査団打合せ、対処方針会議等に参加する。(本打合せおよび会議は両プロジェクト同時に行う。)この際、JICAと相談の上、必要な会議書類などを準備すること。

(2) 前半の現地業務(2025年6月25日~7月19日。本コンサルタントのみで調査)

---

<sup>1</sup> [技術協力 開発課題別の指標例及び代表的教訓レファレンス | 事業評価 | 事業・プロジェクト - JICA](#)

以下、1)～2)の調査を効率的に行い、3)にて適時、整理すること。

#### 1) カトマンズでの調査

- ① JICA ネパール事務所等との打合せに参加する。(両プロジェクト同時)
- ② 各プロジェクト関係者に対して、本調査の目的、評価手法、スケジュールについて説明を行う。

【KUKL および NWSC 以外の想定される面談者】

##### ・ KUKL 技プロ

給水省事務次官補、カトマンズ盆地給水管理理事会 (KVWSMB : Kathmandu Valley Water Supply Management Board)、PID (Project Implement Directorate)、メラムチ給水管理理事会 (MWSMB : Melamchi Water Supply Management Board)、ADB

##### ・ NWSC 技プロ

給水省事務次官補、国家上下水道研修所 (NWSSTC : National Water Supply and Sanitation Training Center)

- ③ 各プロジェクトのネパール側 G/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配付した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- ④ KUKL 技プロに関わった職員 (KUKL) に対して、プロジェクトに規定される成果以外に JICA 事業 (技プロ以外の事業含む) が職員に与えた影響を把握することを目的としたヒアリング調査を行う。(KUKL 職員 10 名 (本部だけでなく、技プロ活動の現場となった浄水場および支所からも選出) を想定)
- ⑤ NWSC 技プロに関わった職員 (NWSC 本部および NWSSTC 等) に対して、プロジェクトに規定される成果以外に JICA 事業 (技プロ以外の事業含む) が職員に与えた影響を把握することを目的としたヒアリング調査を行う (NWSC 本部職員 2 名、NWSSTC 職員 1 名程度を想定。)

#### 2) ポカラでの調査

- ① NWSC 本部で得られなかった情報、データの収集を行う。
- ② ポカラ市で実施した無償資金協力事業および草の根技術協力の取組状況

や成果を確認する。また、NWSC 技プロと草の根技術協力の相乗効果、あるいは連携にあたっての課題等について、整理、分析する。

- ③ NWSC ポカラ支所職員に対して、NWSC 技プロに規定される成果以外に JICA 事業（技プロ以外の事業含む）が職員に与えた影響を把握することを目的としたヒアリング調査を行う。（NWSC ポカラ支所職員 3 名を想定）

### 3) 調査結果のとりまとめ

- ① 別途 JICA から提供するクラスター事業戦略「水道事業体成長支援」のモニタリングシートを用いて、KUKL および NWSC の Annual Report などの既存資料も活用しつつ、可能な範囲で KUKL および NWSC の水道サービスの状況（業務指標）および経営状況（財務指標）を把握する。
- ② NWSC 技プロと関連する無償資金協力事業および草の根技術協力との連携による相乗効果を分析・評価する。

### (3) 後半の現地調査（2025 年 7 月 20 日～8 月 3 日。JICA からの調査団員とともにカトマンズおよびポカラにて業務を実施）

- ① ヒアリングの議事録を作成する。
- ② 収集した情報、データを分析し、各プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ③ これまでに得られた情報および分析結果を JICA 調査団員と共有し、追加が必要な情報・データについて協議する。
- ④ 調査団員およびネパール側 C/P 等とともに評価 6 基準の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文、各プロジェクトについて作成）の取りまとめに協力する。
- ⑤ 調査結果や他団員及びネパール側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び PO の修正案（和文・英文）の取りまとめに協力する。
- ⑥ 評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえた同案の最終化に協力する。
- ⑦ 各プロジェクトのモニタリングの一環として実施される合同調整委員会（Joint Coordinating Committee : JCC）に参加し、終了時評価の概略をネパール側 C/P に説明する。
- ⑧ 協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。（各プロジェクトについて

作成)

- ⑨ 現地調査結果の JICA ネパール事務所等への報告に参加し、担当分野に係る調査結果を報告する。(両プロジェクト同時)

(4) 整理業務 (2025 年 8 月上旬～2025 年 11 月上旬)

- ① 評価調査結果要約表 (案) (和文・英文。プロジェクトごとに作成) を提案する。
- ② 報告会、調査団内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。  
(報告会、打合せは両プロジェクト同時に行う。)
- ③ 担当分野の終了時評価調査報告書 (案) (和文) をプロジェクトごとに作成する。

## 8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。なお、報告書を作成する際には、「コンサルタント等契約における報告書の印刷・電子媒体に関するガイドライン」を参照願います。

### 1) 業務完了報告書

2025 年 11 月 10 日 (月) までに提出。

次の①～③、及び収集資料一式を添付し、電子データにて提出する。なお、①～③はプロジェクトごとに作成し、収集資料もプロジェクトごとに整理の上、提出する。

- ① 評価報告書 (英文)
- ② 評価調査結果要約表 (案) (和文・英文)
- ③ 担当分野に係る終了時評価調査報告書 (案) (和文)

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」最新版の「X I. 業務実施契約 (単独型)」及び「別添資料 2 報酬単価表」を参照願います。

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>

留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。

効率的かつ経済的な経路、航空会社を選択いただき、払戻不可・日程変更不可等の条件が厳しい正規割引運賃を含め最も経済的と考えられる航空賃を見積もってください。なお、国内の航空賃（カトマンズ-ポカラ）に関しては契約に含みません。

## 10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地業務は2025年6月25日～8月3日を予定しています。

本業務従事者は、JICAの調査団員に約4週間先行して現地調査の開始を予定しています。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 水供給・衛生（JICA）
- ウ) 協力企画（JICA）
- エ) 評価分析（本コンサルタント）

③ 便宜供与内容

JICA ネパール事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎：あり
- イ) 宿舎手配：なし（推奨ホテル情報は提供可能）
- ウ) 車両借上げ：全行程に対する移動車両の提供（JICA職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）
- エ) 通訳傭上：英語を解さないC/Pと協議する場合は、英語⇄ネパール語の通訳を提供（必要時のみ、プロジェクトスタッフ同行）
- オ) 現地日程のアレンジ：JICAが必要に応じアレンジします。なお、JICA団員到着前の関係機関へのアレンジについては、コンサルタントによるアポイント取り付けが必要となる場合があります。
- カ) 執務スペースの提供：プロジェクトオフィス内の執務スペース提供（ネット環境完備）

キ) 国内航空券：あり（ポカラーカトマンズの2往復）

(2) 参考資料

- ① 本業務に関する以下の資料を JICA 地球環境部水資源グループ第一チームから配付しますので、gegwt@jica.go.jp 宛にご連絡ください。

【KUKL技プロ】

- ・ネパール連邦民主共和国「カトマンズ盆地水道公社水道サービス向上プロジェクト」詳細計画策定調査報告書
- ・プロジェクト業務進捗報告書
- ・モニタリングシート
- ・R/D及び修正R/D（写）
- ・合同調整委員会協議議事録（第1回～第7回）

【NWSC技プロ】

- ・ネパール国「ネパール水道公社水道事業能力向上プロジェクト」詳細計画策定調査報告書
- ・プロジェクト業務進捗報告書
- ・モニタリングシート
- ・R/D（写）
- ・合同調整委員会協議議事録（第1回～第4回）

本業務に関する以下の資料がウェブサイトで公開されています。

- ・ネパール「カトマンズ盆地水道公社水道サービス向上プロジェクト」事業事前評価表

[https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2017\\_1700156\\_1\\_s.pdf](https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2017_1700156_1_s.pdf)

- ・ネパール「ネパール水道公社水道事業能力向上プロジェクト」事業事前評価表

[https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2021\\_1903645\\_1\\_s.pdf](https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2021_1903645_1_s.pdf)

- ② JICA グローバル・アジェンダのクラスター事業戦略「水道事業体成長支援」は、以下のウェブサイトで公開されています。

<https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/index.html>

### (3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA ネパール事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地業務中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。また、契約締結後は海外渡航管理システムに渡航予定情報の入力をお願いします。詳細はこちらを参照ください。

<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/common/2023/20240308.html>

- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス」（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口または JICA 担当者に速やかに相談してください。
- ④ 発注者、受注者との間で業務仕様書に記載された業務内容や経費負担の範囲等について理解の相違があり発注者と受注者との協議では結論を得ることができない場合、発注者か受注者のいずれか一方、もしくは両者から、定められた方法により「相談窓口」に事態を通知し、助言を求めることができます。
- ⑤ 本業務については先方政府側の対応次第で、渡航時期及び業務内容が変更となる場合も考えられるため、具体的な渡航開始時期等に関しては JICA と協議の上決定します。
- ⑥ 公示内容の更なる質の向上を目的として、競争参加いただいたコンサルタントの皆様からフィードバックをいただきたいと考えています。つきましては、お手数ですが、ご意見、コメント等をいただけますと幸いです。具体的には、選定結果通知時に、入力用 Forms をご連絡させていただきますので、そちらへの入力をお願いします。

以上